

## 問題

「情報工学レクチャーシリーズ アルゴリズムとデータ構造」について、教科書 p.32 のアルゴリズム 3.4 を参考にして、和の計算を再帰を使って実装する。ただし、以下の条件に従うとする。

- (1) switch 文は使用しない。
- (2) 無限ループは使用しない。
- (3) 単一の命令文を含む繰り返し・条件処理の場合でもカッコを記述すること。

## 入力の条件

整数を  $n$  個入力する。1 行目は入力する整数の個数、2 行目以降は 1 行ずつ整数を入力する。 $n \leq 10000$  とする。

入力

```
n
v1
v2
v3
.
.
.
```

## 出力の条件

1 行目に和  $w$ 、2 行目に和の計算の実行回数  $c$  を出力する。各行は改行する。

出力

```
w
c
```

## 実行例

入力 1

4  
1  
2  
3  
4

出力 1

10  
3

## 提出の条件

提出時のファイル名は下記に従うこと。

メインプログラムの指定

プロジェクト名 algo-data-4-2

main 関数が含まれているファイル名 algo-data-4-2.c

提出時に ZIP 形式に圧縮して提出する。コンパイルに必要なファイルも含めること。

main 関数が含まれているファイル名 algo-data-4-2.c

提出時のアーカイブファイル名 algo-data-4-2.zip